

幼稚園

企画課管理用 教 — D — 1

推進主体	幼稚園
責任者	幼稚園長

分類	実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
教 — D	業務負担軽減及び遊びの充実を支えるICTの活用	令和 4 年度	令和 7 年度	なし

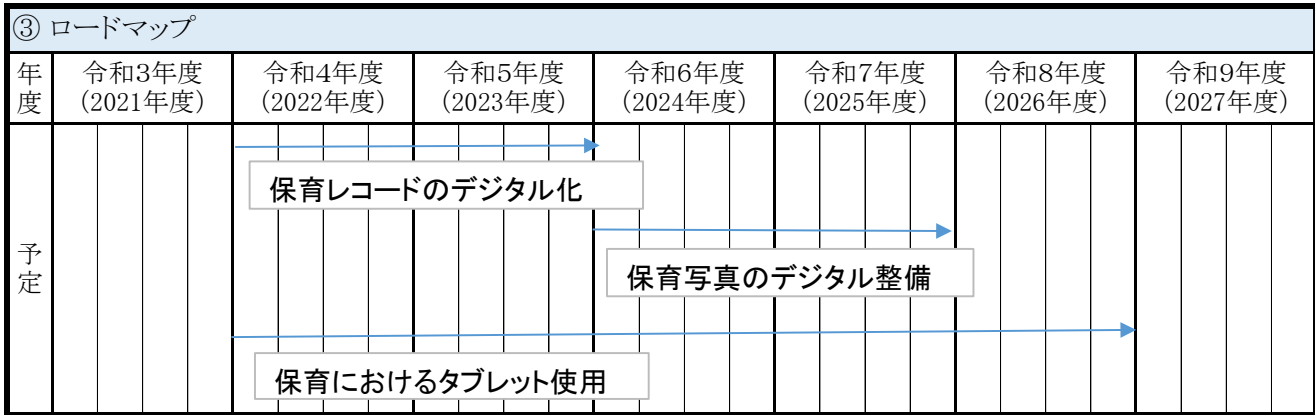
① 目的・内容

幼稚園には、昭和38年に再開園されてからの教材として保育記録が数多く残っている。中には貴重な戦前の「絵本唱歌」や昭和初期の「幼児の歌と遊び」も含まれる。それらは、現在も運動会や普段の教育活動に教材として使用しており、最近では必要な時に都度CDに起こしている。現存の記録の音楽や歌は、時代が変わろうとも幼児の情操教育として大切に保育の中で今後も使用していく。ICTの特徴を生かし、きれいな音で保存し手間なく必要な時に教材として身近に使用できるようにデジタル化を進めたい。保育写真は、再開園50周年記念事業の際に再開園当初からの膨大な写真を一度整理したが、更なるデジタル整備を図っていく。

教員の業務の効率化としてのICTの活用は、現在も可能な限り進めており、保護者への連絡のためのプリントのデジタル化や家庭との連携を図るツールとしての可能性も検討中である。また、直接体験が重要という観点から、幼児のICTとの接触については慎重に考えているが、スマホやタブレットが幼児にも身近になる中、今後図鑑や絵本などと同様に遊びの生活を支える一つのツールとして、タブレットが身近に使用できる環境を整えていく。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

- ・保育記録のデジタル化は令和4年～令和5年度までに行う。
- ・保育写真のデジタル整備は、令和6年～令和7年度までに行う。



④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園に保存されているレコードは360枚およそ1580曲ほどである。2年計画の1年目として、そのうちの半分をデジタル化して手軽に日常の保育に活用できるようにする。 ・タブレットを4保育室に一台ずつ、災害用・運動会用に1台購入し、日常の保育を支えるツールの一つとして使用する。(例:作ってみたいものの写真を見たり、園内の虫の写真を撮って友達と観たり、名前を調べたり、音楽を聴いたり踊ったり等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・レコードのデジタル化1年目は、計画通り実施できた。 ・デジタル化したレコードを聴く機会を設け、数ある曲の中から保育に活用出来る曲を探し、どのようなシーンでの使用が適切であるか等を検討していくのが今後の課題である。 ・タブレットを各保育室に1台ずつ購入し、日常の保育に生かしつつある。知りたいものを検索して工作を進めたり、捕まえた昆虫の写真を撮って皆で共有したり、使用の幅が日々広がってきている。 ・音楽を聴いたり、音楽に合わせて楽器を使ったり踊ったり出来るように、更なる使い方の検討が必要である。
令和5年度 (2023年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園に保存されているレコードのデジタル化の残り半分を実施する。また、カセットテープに残されている貴重な音源も合わせてデジタル化していく。 ・タブレットを主管教員のみではなく、園児も正しい使い方が徐々にできるように教員間で検討する。 ・デジタル化完了の音楽をタブレットに入れて、日常的にいい音楽に簡単に触れることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レコードのデジタル化2年目は、計画通り実施できた。 ・デジタル化した大量の曲目を分類整理し、日々の保育に簡単に活用できるように、その運用の仕方を検討して実行し、さらに教員間で共有していくことが課題である。 ・保育室に1台設置したタブレットは、日々活用されており、録音した音楽を聞いたり、蝶の羽化を動画でとったり、工作で作りたいものを検索して細かなところを見たり、教員だけでなく、園児もその使い方に慣れ、保育の中で十分活用されている。
令和6年度 (2024年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化したレコードやカセットの音源をどのようなシーンで使用するのか整理し、日常的に使用できるように、分類と抽出の仕方を検討する。 ・園長室に保管されていた昔の音楽鑑賞会、父母講座の録音テープやビデオなども整理し、必要に応じてデジタル化し保存する。 ・カセットテープに残っている貴重な音源も、レコードと同様にデジタル化し保育に生かせるようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レコードのデジタル化3年目は、計画通り実施できた。 ・幼稚園所蔵のクラシックレコードなど貴重な資料をデジタル化した。レコードのデジタル化はおおむね完了したが、VHS収録の映像資料や劣化が懸念されるカセットテープの修復、保存が今度の課題である。 ・保育室のタブレットと遊戯室の音響装置のBluetooth接続が可能となり、園児の使いたい音源を遊戯室で流すことができ遊びの幅が広がる活用がなされた。
令和7年度 (2025年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・映像教材や資料のデジタル化により、園児の情操教育に良い影響を与える古くから大切にされた教材の有効利用を計画している。 ・互いの保育を検証する機会を設けるために、タブレット端末を使った映像記録の活用を検討している。 	